

静岡市ろうあ協会報

第008号

発行所 静岡市葵区城内町 1-1
静岡市中央福祉センター
発行人 小泉 秀力
編集人 森 匡之
発行日 平成 21 年 4 月 7 日

2009年新年会



(写真) 新年のあいさつをする小泉会長

◇実施日 平成 21 年 1 月 4 日 (日)
◇場所 静岡ベルアージュ
◇参加人数 56 名

1月4日(日)、静岡ベルアージュにて、「2009年新年会」が行われました。

この日は、当ろう協会員をはじめ、手話サークル関係者、登録通訳関係者の合計54名が集う中、静岡市ろうあ協会の新しい年を迎える事ができました。

新年会は、杉山大輔(総務部)の司会進行のもと、小泉秀力静岡市ろうあ協会会長の「新年の挨拶」に始まり、次に亀山勝二静岡市ろうあ協会副会長が乾杯の音頭をとりました。この後、あらかじめ決められたテーブルに参加者がそれぞれ着席し、歓談しながらお互いの交流を深めました。

この後、「静岡市ろうあ協会の3年間のあゆみを振り返る」という企画が行われ、内容は、過去3年間に行われたろう協関係の行事の写真をプロジェクターに映しながら、当時の様子を参加者に説明してもらった、というものでした。ただ、今回は用意できた写真が少なかったためか、他に写真を見せて欲しいという声があがったほど、好評だったようです。

また、お楽しみ企画の「くじ引き」も行われ、景品は特賞、1等、2等、3等、4等が用意されました。

最後に、当ろう協会員でもある「月曜男 & 突然男」のコントも行われ、会場も大いに盛り上がりました。

午後3時~午後6時の3時間もあっという間に過ぎ、最後は山本與四郎静岡市ろうあ協会副会長の締め言葉で締めくくりました。



(写真) 「静岡市ろうあ協会の3年間のあゆみを振り返る」



(写真) お楽しみ企画の様子

市青年部学習会パート3 『ズームイン！手話通訳』



(写真) 青年部学習会の様子

◇実施日 平成21年1月17日(土)

◇場所 静岡ろう学校

◇参加人数 27名

1月17日(土)、静岡ろう学校にて、「市青年部学習会『ズームイン！手話通訳』」が行われました。

講師に静岡市専任手話通訳者の津野辺豪さんをお招きし、「手話通訳」をテーマに講演させて頂きました。

講演内容は、手話との出会い、手話通訳者になったきっかけから始まり、手話通訳者の仕事内容、その派遣制度やコーディネーターとは何か？を中心にお話しされました。また、実際に「登録手話通訳者等派遣申請書」を書いてみるなどの実践、グループに分かれて「手話通訳派遣について考える」の討論や発表も行われました。

3時間近くの講演になりましたが、健聴者も交えての学習会だった為、手話通訳について幅広く知ってもらう良い機会にもなりました。

静岡ろう学校・静岡市ろうあ協会青年部交流会

1月24日(土)、静岡ろう学校にて、「静岡ろう学校・静岡市青年部交流会」が行われました。

交流会の内容は、「凧上げ」と「缶馬」といった、正月の伝統的な遊び道具を作り、最後に「茶話会」という形で、ろう学校の子どもたちや親との交流を深めました。

凧上げは、ろう協青年部が、竹ひご、和紙を適当な形にした物を事前に用意し、子どもたちと一緒に作っていました。ただ、会場の都合で、実際に凧上げができなかったのは残念です。

缶馬は、缶に穴を開けたり、開けた穴に紐を通すだけでも一苦労でしたが、出来上がった時の子供達の顔は輝いていました。また、先生方がコースを作ってくれた事もあって、作った缶馬で競争する子供達の姿も見られました。

今回は「誰でも参加可能」にした結果、多数の参加者からご協力を頂く事ができました。



(写真) 茶話会の様子

◇実施日 平成21年1月24日(土)

◇場所 静岡ろう学校

◇参加人数 約50名

第13回ろう教育静岡フォーラム



(写真)説明する静聴協・山本事務局長

- ◇実施日 平成21年1月25日(日)
- ◇場所 プラザおおるり(島田市)
- ◇参加人数 151名

1月25日(日)、プラザおおるりにて、「第13回ろう教育静岡フォーラム」が行われました。

内容は、午前の部が「第20回ろう教育を考える全国集会in兵庫」における静岡県のレポート発表、「校名変更反対運動のその後」の様子を、静聴協・山本事務局長がお話しされました。予定時間を少しオーバーしましたが、この後、NHK「ETV特集～手の言葉で生きる～」(昨年9月放送)の録画を視聴しました。

また、午後の部が分散会による自由討論が行われました。自由討論のテーマは、午前の部に行われた「第20回ろう教育を考える全国集会in兵庫」における静岡県のレポート発表、「校名変更反対運動のその後」の様子、NHK「ETV特集～手の言葉で生きる～」の3つを基に「自分達には何ができるか？」の意見を出し合い、最後にその結論を各グループの代表がまとめて発表しました。

市民交流まつりinは一とぴあ清水



(写真)手話教室の様子

- ◇実施日 平成21年2月1日(日)
- ◇場所 は一とぴあ清水(清水区)
- ◇来場者数 約1300名

2月1日(日)、は一とぴあ清水にて、「市民交流まつり」が行われました。

内容は、ボランティア団体の紹介やステージ、学校等での福祉教育実践の展示などが行われ、今回は清水区の手話サークル「火曜会」がステージで手話を披露し、同じく「たつのこ会」も手話教室として参加しました。

いずれも「清水区にある手話サークル」として例年通りの参加になりましたが、今回も清水ブロックを中心とした数名のろう協会員が講師のサポートに駆けつけてくれました。また、この行事を通して手話の普及及び聴覚障害者の存在を来場者に知ってもらう機会にもなりました。

※約1300名の来場のうち、手話教室に100名以上のお客さんが入ったと報告がありました。

第 4 回ありんこの里をつくる会チャリティ音楽祭



(写真) フィナーレの様子

- ◇実施日 平成 21 年 2 月 14 日(土)
- ◇場所 静岡市清水文化センター
- ◇来場者数 約 400 名

2月14日(土)、静岡市清水文化センターにて、「第4回ありんこの里をつくる会チャリティ音楽祭」が行われました。

内容は、有度幼稚園、静岡市ろうあ協会女性部がそれぞれ踊りなどを披露した後、メインとして、フォルクローレ(ラテンアメリカの民族音楽)バンドのグループ・アンデネスが約10曲ほど演奏を披露しました。

目的は、「ありんこの里をつくる会」を支援する事で、今回の収益金は「ありんこの里をつくる会」へ寄付されます。

また、準備期間が短かったにもかかわらず、会場には約400人のお客さんが来場され、チャリティ音楽祭は大盛況に終わりました。

第 27 回愛の援聴週間・未来へはばたけみみの日大会



(写真) みみの日大会の様子

- ◇実施日 平成 21 年 3 月 1 日(日)
- ◇場所 浜北文化センター(浜松市)
- ◇来場者数 約 500 名

3月1日(日)、浜北文化センターにて、「第27回愛の援聴週間・未来へはばたけみみの日大会」が行われました。

内容は、式典から始まり、次に車いすバスケットボール日本代表の京谷和幸氏を講師にお招きし、「車いすの」リーガー、夢をかなえるために」をテーマとした講演が行われました。

その他、ブラジルのサンバチーム、「バツカダ・デ・ハママツ」のサンバ、鈴木・ラファエル・ケンジ・フォンセカ氏のブレイクダンスといったショーが行われました。

来年の「みみの日大会」は東部地域で開催される予定です。

社団法人静岡県聴覚障害者協会・第22回通常総会



(写真)挨拶をする伊藤行夫会長

◇実施日 平成21年3月15日(日)

◇場所 パルシェ(葵区)

◇参加人数 101名

3月15日(日)、パルシェにて、「社団法人静岡県聴覚障害者協会・第22回通常総会」が行われました。

この日は、静岡県各地から101名が集い、議長に伊東潤さん(駿南支部)を選出して、議事に入り、

・第1号議案…平成21年度事業計画(案)の件
遠州みみの里21年度事業計画書

・第2号議案…平成21年度予算(案)の件
遠州みみの里特別会計収支予算書

・第3号議案…平成21年度特別予算(案)の件

・第4号議案…平成21年度予算書総括表(案)の件

・第5号議案…平成21年度運動方針(案)の件

・第6号議案…定款の件

・第7号議案…平成21年度理事・監事選任の件

以上の議案が全て承認されました。

また、加藤伸一郎静岡県聴覚障害者情報センター所長退職に伴い、後任に山本與四郎氏が静岡協事務局長と兼任する事も発表されました。

静岡市ろうあ協会・最終役員会



(写真)最終役員会の様子

◇実施日 平成21年3月30日(日)

◇場所 中央福祉センター(葵区)

3月30日(日)、中央福祉センターにて、「静岡市ろうあ協会・最終役員会」が行われました。

内容は、平成20年度の反省と会計報告、平成21年度の課題、事業計画案と予算案といった、平成21年度定期総会に向けての準備を進めました。

清水ろうあ協会と旧静岡市ろうあ協会が合併し、新しい静岡市ろうあ協会がスタートしてから早3年が経ちました。また、役員任期(3年)もこれをもって一つの区切りとして、新しい役員に引き継がれます。

新しい役員の新体制は「平成21年度定期総会」で発表する予定です。

全通研冬の集会 in 千葉 レポート報告

2月14日(土)～15(日)、千葉県にて、「全通研冬の集会」が行われ、静岡市ろうあ協会からは、小泉秀力会長、山本直樹さん、三津山明さんの3名が参加しました。

会長 小泉秀力

2月14日から15日2日間全通研の冬集会（千葉県）へ行って来た。
私は第12分科会「手話通訳者の設置・派遣について」に初めて参加した。
提出レポートは4県でした。

1. 広島県の手話の競争入札問題
2. 埼玉県における専任・設置手話通訳者の身分保障について
3. 群馬県における「コミュニケーション支援事業」のその後
4. 山梨県の手話通訳派遣・設置事業について

広島県の手話の競争入札問題が発生したのは2006年8月に広島県福祉保健部社会局障害者支援室長より「委託・役務業務の競争入札参加資格の参加審査に関わる申請手続きについて」の文書が、何の前解れもなく広島県ろうあ連盟事務所宛へ突然届いたことから運動が始まって、広島県ろうあ連盟が聴覚障害者のコミュニケーション手段である手話・要約筆記通訳は競争入札の対象項目にそぐわないと即座に判断し、1ヶ月半の粘り強く交渉により、手話が入札項目から削除されるに至った運動した。

理由は①広島県福祉保健部社会局障害者支援室の手話通訳制度の認識不足。

②広島県内に手話通訳派遣ができる団体が2つ以上ある。

団体2つ以上があると話を聞いて団体の名前を知りたかったが、答えられず、残念でした。

私としてやはり静岡県も静岡市でも障害福祉室との関わりを持っていくことが大切だと強く感じた。

埼玉県は専任・設置手話通訳者のも身分保障の問題についての調査としてデータを取りまとめた話がわかり易かったと思いました。手話通訳者派遣事業は市から社協に委託で専任・設置手話通訳者は市で別々やっているそうでした。それは珍しいではないかと思った。

静岡県も各市町村の専任・設置手話通訳者の身分保障と手話通訳者派遣事業の状況などを配慮することが大切と思った。

群馬県は「コミュニケーション支援事業」のその後、取り組みについて発表した。

静岡県のモデル要綱を参考して群馬県らしいモデル要綱を作り、各市町村へ実施して2年目に経過を取りまとめた。課題などをうまく表を作り上げた。

手話通訳設置、派遣の状況と手話奉仕員養成講座の状況などを各市町村の様子を細かく書いていい参考になった。

ひとつびっくりしたのは、手話通訳者の名簿とろうあ者の名簿は吉井町だけ作って手話通訳者とろうあ者の会員だけ配布したそうでした。配布目的は緊急対応？だと思ふ。個人情報保護の問題ですが…？静岡市では作ってくれない…開庁時間外でどうやって通訳者に依頼する方法の問題を解決しなければならぬと思った。

山梨県は手話通訳者派遣事業は県単独で実施してきたが、各市町村では30年間設置事業はなかった状況でした。障害者自立支援法施行をきっかけに、甲府市と南アルプス市と甲斐市だけ設置に進めて、他の市町村は聴覚障害者情報センターに委託している状況でした。

他の道府県から設置・派遣事業の状況などを報告した。

静岡市の状況を報告した。内容は市のコーディネータの身分の問題を話したが、参加者から何にも質問・アドバイスがなかったので凄く残念でした。

全国の状況などの話を聞いていい勉強になったと思った。

山本 直樹

第 12 分科会「手話通訳者の設置・派遣について」に参加し、広島県の手話の競争入札問題、埼玉の手話通訳者の身分保障、群馬、山梨の派遣事業のレポート報告を聞きました。

詳細については全通研冬の集会報告書に掲載しているので、割愛します。

全国の報告を聞いていると、何かにつけて静岡を比較対象とされたり、静岡をモデルにしたりと、静岡の手話通訳制度が抜きん出ているように感じました。

それだけろう協・通研が一体になって取り組んできた成果であり、先輩たちに感謝したいです。

しかし、今の現状にあぐらをかかず、慢心せず、まだまだ残されている問題に取り組んでいきたいと思っています。

今回の報告で感じたことは、

- ・ 行政の動向を監視し、関係を強めるよう定期的に会合の場を作ったり、挨拶したりする。
- ・ 県内の設置・派遣制度や条件などを一覧化することで、自分の地域だけでなく県内としてどの位置にいるかどうかを確認する。

別件として、全国の集会に参加することで久しぶりに同級生と飲む機会を作れた。

それぞれ地域のろう協会長を担っており、地域の問題や行政との交渉など情報交換を深められ、大変有意義な夜を過ごせた。

お互い青年部を卒業したので、次は全通研冬の集会で、また来年岩手で会おうと再会を約束したこともあり、来年も参加したい。

三津山 明

2月14日から15日、千葉へ全国手話通訳問題研究討論集会を市川市の和洋女子大学にて行いました。

東京都と千葉県の境に江戸川の近くにあってきれいな建物でした。

分科会は全部で13分科会あり、第4分科会の「手話通訳者を養成するために」の分科会に参加しました。

レポート報告があり、千葉県では手話奉仕員養成実技講師と手話通訳者養成実技講師のあり方がこの静岡県とまったく異なっていました。

千葉県では、「実技指導講師」と言い方があって手話奉仕員実技指導講師、手話通訳者指導講師になるには登録にならないと講師になれないことになっています。つまり、手話通訳者になるには総一試験を受かって県登録するのと同じです。

講師になるには実技指導講師登録試験があって手話技術、手話指導技術、知識に関すること、面接試験です。

静岡県もこの様になったら講師らしい講師になるでしょう。

他の課題は講師派遣の問題があって、北海道の札幌以外の手話奉仕員養成講座がない地域は片道でも6時間以上かかるそうです。一日で帰るのはできないので一泊で行っている状況です。

来年は、盛岡市で開催します。

定額給付金

3月4日に「定額給付金」が可決され、早い所ではその翌日から支給が始まりました。

なお、静岡市の場合、4月下旬に世帯主の方へ郵送、5月下旬に世帯主の口座に振り込まれる予定です。(詳細は静岡市のホームページを見てください。)

※定額給付金…経済対策として全国民に一人12,000円(65歳以上と18歳以下は一人20,000円)を支給。

ETC助成金制度

3月28日から平成23年3月まで、土日でかつETC装着車に限り「高速道路の新料金割引」がスタートしました。障害割引で1000円を超える区間は、一律1000円に割引されます。

(例:土日) 静岡→浜松・片道(通常:1900円/障害割引:950円)

静岡→名古屋・片道(通常:3950円/ETC:1000円)

※ETCでの障害割引申請は各区役所の障害福祉課に問い合わせしてください。

今後の行事予定

日程	内容	場所
2009/04/16(日)	県ろうあ者体育大会	沼津市
2009/05/24(日)	第3回静岡市ろうあ協会定期総会	は一とぴあ清水
2009/06/07(日)~08(日)	全国ろうあ者大会	茨城県つくば市
2009/06/21(日)	県ろうあ者大会	掛川市
2009/06/27(日)~28(日)	東海体育大会	岐阜県

※5月24日(日)は一とぴあ清水にて「第3回静岡市ろうあ協会定期総会」を行う予定です。

詳細及び資料は別途配布する予定です。

原稿募集

団体の動き、話題、会員消息、問題提起など、
どんどん原稿を投稿してください。

☆締切日 6月3日

☆投稿先

F A X 054-354-0184

Eメール gdeh_tree3@yahoo.co.jp

機関紙担当 森 匡之

※次回発行(9号)は、7月7日の予定です。

編集あとがき

会員より「漢字が読めない」という声があったため、今回より本格的にルビを導入しました。それに伴い、レイアウトも少し変えてみましたが、いかがでしょうか?

また、原稿等もお待ちしています。(連絡先は左枠参照。)

総務部員・機関紙担当 森 匡之